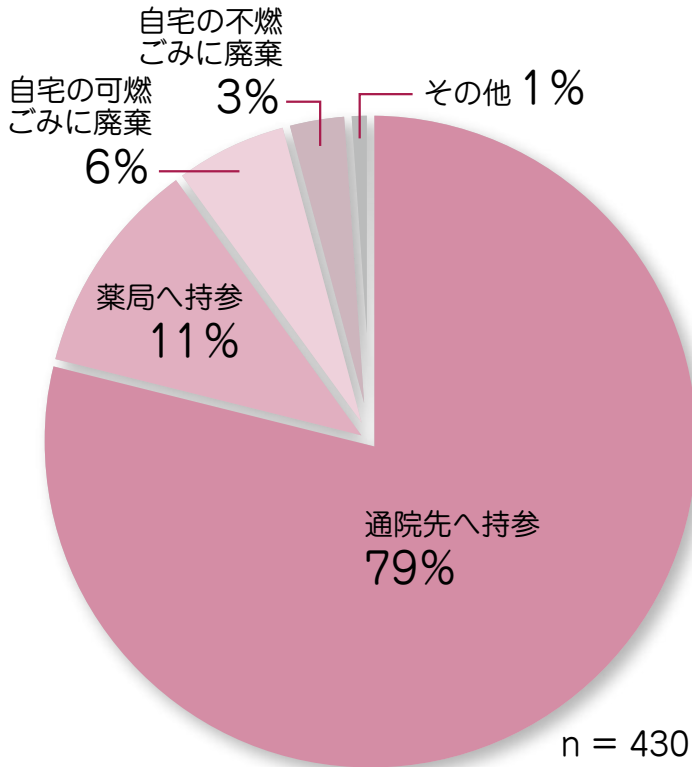


Q. 使用済みの穿刺針は、どのように処分していますか？



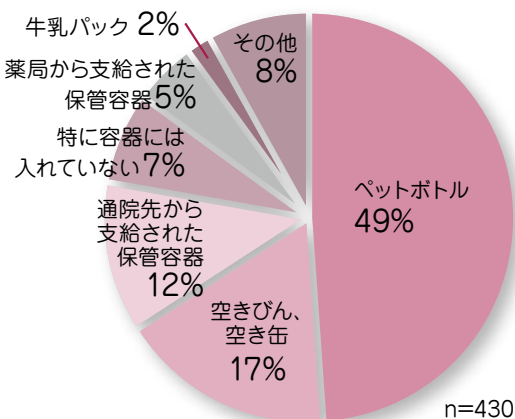
8割が通院先、1割が薬局へ、ですが家庭用ごみとして処分している方も1割近くおられました。回答者の1割は、自主的にSMBGを実施している方でしたが、インスリン療法患者さんと大きな差異はなく、8割が使用済み針は通院先へ持参されているとのこと。

穿刺針の取り替え頻度は、毎回新しく替えている方は73%で、「3回以上」および「針が使えなくなるまで」とする頻回使用派が19%おられ、なかには1週間と記載された方も。使用済み針の保管についてはペットボトルが半数でしたが、レジ袋やチャック

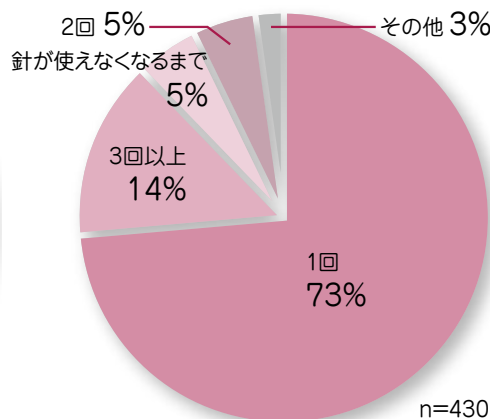
式の食品保存袋、プラスチック密封容器といった記述も多くみられました。また、「特に容器には入れていない」の7%は、貯めずに家庭ごみ等で廃棄していると考えられます。

自由記述では、「医療機関へ持ち運ぶのは結構な量でかさばる。家庭で安全に処理できるようになると有難い」、「病院に針専用のダストボックスが備え付けてあるが、いつもそんなに入っていない。皆はどう処理しているのだろうと思っていた」、「医療機関で廃棄容器を用意して欲しい。特に外出時、針や血の着いた消毒綿などの入れ物

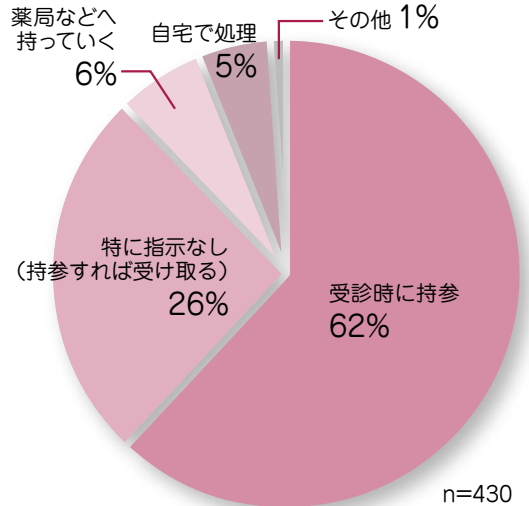
Q. 使用済み針は、どのような容器に入れてありますか？



Q. 穿刺針は何回使用して捨てていますか？



Q. 通院先では、使用済み針をどうするよう指導されていますか？



に困っています」、「東日本大震災直後、不足しているので1日毎に変えるように言われ、現在も針1個を1日以上、消毒しながら使っている」、「インスリンの針は処方されている薬局で、血糖測定の穿刺針は病院。回収される場所が違うので、容器を2つ用意しないといけないことが面倒。病院で全て回収してくれるればいいのにと思う」など、様々な意見や要望が寄せられました。

●コメンテーター●

鈴木吉彦 (日本医科大学客員教授、HDCアトラスクリニック院長)

昔は、注射針をカットして廃棄する習慣もありました。最近は、ペットボトルに入れて持参してもらうケースが増えたようです。しかし、あまりすぎた場合は、大きなペットボトルを病院やクリニックまで持参するのは大変だと考え、つつい公共の場に不法投棄をされる方もいるようです。今後、特に高齢化社会になると、こうした問題は実際におこり、かつ増えていく社会問題になるかもしれません。そうならないように、普段から医療従事者側からの指導や注意勧告が必要でしょう。